

【うなぎつね授業記録④】

T ああそうしきだって、考えましたね。これはだれの葬式だったわけですか

C おつかあ、

C 兵十のおつかあ

T これは、兵十のおつかあの葬式だって、どこでわかったの？

言葉で見つけて 和寿

和寿 兵十が

T 和寿がいつてるのは、どの頁？ 祐介、読んで

祐介 兵十が白いかみしもを着けて、……いつもは赤いさつまいもみたいな元気のいいかおが、今日はなんだか元気がありません。

T 白いかみしも、ここらでもお葬式のときは、着るね。

和寿は、兵十の顔色のことを言ってたね

和寿 いつもはな、赤いさつまいもみたいな顔が、しおれてるみたいない感じ。

T なんだかしおれている。

はい、で、今日の勉強は、「あつ兵十のおつかあだ」てわかって、そこで、ごんがどんな思いになったかですね。

これを見たときのごんは、どんな思いになったのか。

義昌 読んで 「そのばん」から

義昌 「その晩……」読む

T 今の所、ごんになったつもりで、みんなもういぺんよんで。

C 読む。

T はい、じゃ、言ってくれる。ごんは、どんなことを考えたの？

宏 反省している。

T ほう、何を？

宏 うんとな、……

T ごんは葬式しかみてないのに、反省しているってどういうことなの？
そこをもうちよつとわかりやすく。

C ……

T わからん？

義昌 ごんがうなぎをとっておつかあを殺してしまった。

T ごんがおつかあを殺したと思ってる。？そんなこと書いたるか？

義昌 ちがう

えつとな、ごんは、うなぎをとってきてしまったので、うなぎを食べられんと死んでしまった。

C ……

T だれか、言ったって。康治

康治 うんとな、こんなさわぎになるとは思ってたかった。

T ほう、うなぎが

義昌 うなぎだけでこんなことになるとは思ってなかった。

T うなぎのいたずらが、何になったの？

太志 葬式になった。

義昌 人殺しに近くなった。

康治 というかな、栄養があまりつけられなかった。ごはんもおかずもあまりなかったかな、うなぎとか魚とか栄養のあるものを食べさせたかった。

義昌 だから死んでいった。

T じゃ、もういつペンわかりやすく言うと、どういふことになりますか。

うなぎや魚を逃がした悪戯をしたのが、どうなったと思ってるの

太志 人殺しになった。

安裕 自分がな、うなぎとってやったのに、にがしてしまったさかい。

T ああ？わからん。だれか言え

和寿 あんな、ごんはな、穴の中で考えてな、兵十のおつかあがうなぎが食べたいといつてたのに、ごんがいたずらして、うなぎがたべれなくて、そのまま、「うなぎが食べたい、うなぎが食べたい。」て。かわいそうやん。

食べたいと思ってたのをとって行ってしもたん。

T ほんなら、それが何で人殺しになるの？

康治 ゆうちやんみたいに、たぶんやで、

T もうちよつとわかりやすく言うてくれや。ここでごんはどういう気持ちになったんか。おつかあが食べたがっていたのをにがした。それで、自分のせいで死んだというのはどういふこと？

安裕 貧乏やからな、栄養がつけられんかってな、

T このうなぎは、栄養

和寿 うなぎは、たぶん、栄養がある。それをおつかあに食わしたらたぶんしんやろと思つて釣つたのに、ごんがとってしまったから、その栄養があげられなくて死んでしまった。

T ああやつとわかつてきた。兵十のおつかあが病気で、その葉がわりに、兵十が栄養をつけてもらおうと思つてとつてたうなぎを、おれがいたずらしてとつてしまった。だから、おつかあに栄養をあげられなかったために、おつかあが死んだ。それで、「おれのせいで死んだ」と思ってる。そんでいいですか。

反省しているって、どこでわかる？ごんは、反省してるって、どの言葉を読むとわかる？

和寿 ちよつ

T ちよつ、あんないたずらをしなけりやよかった。

この中でどの言葉が一番感じる、ごんが反省してるって。

C ちよつ

T ああ、ここやっていうやつがおるぞ。ここだつて言う人手あげてみ

C あんな

T あんな、言う人もいる。

ちよつ、から感じる人

これに、どんな気持ちを感じますか

めぐみ ちえつとか、いうのは、「そんなな」とかいうときやけど、

「ちよっ」いうたら、自分のせいで、自分が馬鹿なことをしたなあというとき

T ほう

康治 いたずらしててな、失敗したからな、自分に言い聞かせているの。

T 「ちよっ」ていうのは、自分に言ってるみたい。

義昌 「ちよっ」はな、自分をしかっている

T おっ！自分をしかってる。

自分をしかってる感じがする。

太志 自分にな、「あんないたずらしたらあかんやろ」て言ってる。ほんでしかってるの。

安裕 あんな、「ちよっ」というのは、謝ってるみたいなん。

T なるほど、……じゃ、「あんな」に「ごんの気持ちがあるっていう人

じゃ、ひでちゃん

英和 えつとな「あんな」のところ、ひどいと思ってる。

T あんなひどいいたずらするんじゃないかなあって思ってる？

まいちゃん

まい いつも思ってるとしたら、「あんな」はつけへんと思う。

あんなやから、あんな馬鹿なこと、ていうか

T ひでちゃんは、「あんなひどい」

「あんな馬鹿な」……ちよつとちがうね。

みんなやったらどんな言葉入れる？

今、「あんな」の中身をひでちゃんは、「あんなひどいいたずらした」て気持ちがこもったるといふ。まいちゃんは、また、ちがう。「あんな馬鹿ないたずらした」ていうてやる。

宏 あんな、思ってたへんかったのに勝手になってしまったからな、なんか自分でな反省してるの。

T 今、宏がおもしろいこと言ったの、わかるかい？

「思ってもいなかった」……

義昌 ちがう

T 宏が言いたいこと、感じられる？宏、もういっぺんいってみ

宏 思ってもいなかったことが、反対になってしまった。

T 思ってもいなかったことが……

めぐみ じぶんは、いつもと同じふうにいたずらしたつもりやったのに、……

T 最初は、いつもと、なんやて、同じやと思ってたのに、ていうてやるんやで。

麻衣子 いつもと同じように軽い気持ちでやってたのに、遊びていどで。ほやのに、自分が思ってもないことになった。

T 「あんな」がだいぶん読めてきた。軽いいたずらやと思ってたのが、

義昌 ひとを殺す

康治 あんな、宏君のとかに似てるんやけどな、自分は、同じようにしてたんやけどな、もし、やで、自分のせいでもなくて、自分がしたようになってるから。自分で責めているTだから責める。そこ、誰か言える人ない？

軽いいたずらやと思つてたのに、大変なことになっちゃった。だから、自分が……
「ちよつ、あんないたずらするんじゃなかった。」これは、重いのか？軽いのか？

C 重い

T うんとこたえているんでしょ。それはどうして「ちよつ、あんないたずらするんじゃなかった！」て思えてしまうのは

C ……

T ごんは、最初からおつかあを苦しめてやろうなんて思つていたずらしたのじゃないね。
C ほんなんしらん。

T 全然知らなくて、軽いいたずらやな。だからよけいこたえるって。

智美 なんか自分自身の満足のために人を殺してしまったよう

義昌 智美ちゃんに近い。気が済むとかな、いやなことがあったらな、一人でただ遊びでやつてるのに、人を殺すようになってもた。

T 自分のうさばらしの軽いつもりがとんでもないことになったのね。

康治 それを思つてる時にな、自分が人に言つてるみたいに見える

T 自分が人に？

和寿 自分がな、人になった気分です。

T ああ、わかつてきた。こういうことがいいのやろ。

いたずらしてたときの、このときはあとおもしろかったやけど、今、このいたずらしていたときの自分を、もういっぺんここで見とる、いうことやな。

康治 今考えてみたら、自分じゃないみたい。

宏 いつもは調子にのらんとちよつとしたらやめてるのに、調子にのつてもたからなら、うなぎまでいってしまった。

T 調子よくやつていた自分が、今、なんてあほなことをつて見えるんやな。

……

「あんな」といったときに、自分が見えてくるやね。

さっきのガラスでもほうやね。

勇太 あんなおいかけっこせんかったら良かった。

T あんなしようもない、おにごっこせんだらよかったのに、てね。あんなことになるなんて、だれも思つてなかったね。初めからガラスわったるなんて思つてなかったね。できてしまったから、あんなことせんかったらよかった、と思つてるのと、全く同じやね。

T で、もう一つだけ聞きたいんやけど、

ごんは、こういうふうと思つてるんやけど、実際はどうなの？おつかあは、そうやって死んだのか。勝手に想像しているのか

宏 かつてに想像してるの。ほんなん、死んだとこ、見てへんやん。

T 宏、言つて。

宏　　ごんは、死んだとこみてへんで、自分のせいと想像して反省してるの。
T　いいですか？ 思いこんでるだけだ。

　　見たのは、兵十がしょんぼりしてる姿を見ただけですね。
　　つまり、それが原因で死んだのか、年が来て死んだのかわからない。